

平成19年度献血により受入れる血液の目標量を確保するために必要と思われる具体的措置

滋賀県赤十字血液センター

①若年献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)		平成19年度目標(数値)
1	はがきによる献血依頼	18~29歳の400mL献血可能者	協力者数1,000人以上
2	セミナー開催	高校・短大・大学生	5回開催 参加500人
3	若年者献血キャンペーン	18~22歳の若者	参加500人以上、期間中の10~20代献血者構成比50%以上

②献血協賛企業推進対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	新規・休眠中献血協力企業・団体の確保	献血未実施および献血会場周辺企業	10社新規登録
2	緊急要請可能な待機型団体の確保	母体・ルーム周辺の小規模企業・事業所	動員協力団体20社
3	成分献血協力団体・回数拡大	新規及び既献血団体	20社増加

③複数回献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	メールによる献血要請	複数回献血クラブ会員	応諾者数(実協力者数)500人以上
2	はがき等による献血依頼	前回採血から一定期間未献血者	応諾者数(実協力者数)3,000人以上
3	実施場所(企業・団体)の年間回数の増加	年1回実施場所(企業・団体)	20カ所

④400mL献血率増加対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	受付時推進用資材の製作	全血献血希望者・献血会場	全献血会場に設置
2	はがき等による依頼	400mL献血可能者	(上記③複数回献血者確保対策に含まれる)
3	実施場所(企業・団体)の年間回数、実施時期等の精査	年2回以上実施場所(企業・団体)	400mL献血の採血間隔、年間採血量を考慮した献血日程の策定
4	高校献血における400mL献血受入れ	400mL献血可能者	3校

⑤その他の具体的対策(①~④以外の独自の対策を記入。以下必要に応じ様式を追加)

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	電話及びはがき等による献血依頼	固定施設の既血小板成分献血者を含む全献血者	2人/日を目標に年間1,000人を確保する。
2	定期及び緊急時の協力団体の拡大	母体及び湖北ルーム近隣の事業所等	各10ヶ所
3	次回の予約推進	固定施設の既血小板成分献血者	2人/日を目標に年間1,000人を確保する。

平成19年度献血により受入れる血液の目標量を確保するために必要と思われる具体的措置

京都府赤十字血液センター

①若年献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	血液管理センター見学	京都府学生献血推進協議会メンバー及び看護学校生	参加約80人
2	若年者対象献血セミナー開催	小学生高学年～高校生対象	8月開催 参加約140人
3	18歳からの献血キャンペーン	高校3年生を対象に1月から3月に400mL献血と血小板献血を依頼	献血協力者約1,000人

②献血協賛企業推進対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	新規献血協力企業・団体の確保(移動)	京都市内各献血会場周辺企業における参加協力の推進	市内会場約200会場において推進
2	緊急要請可能な団体の確保(移動)	通常の献血協力に加え、血液不足時に型別での協力可能な団体	5団体確保
3	定期的な献血協力団体の確保(ルーム)	献血ルーム周辺の企業	駅前ルーム近辺で30社以上確保
4	緊急要請可能な団体の確保(ルーム)	移動採血が配車でできなくなったルーム近辺企業	駅前ルーム近辺で20社以上確保

③複数回献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	推進用ポスター・リーフレットの作製と配布	一般献血者(各ルームと移動採血車)対象	年間新規登録者数2,000人以上を目標とする。 170人以上/毎月 200人以上/キャンペーン月間
2	リーフレット郵送による新規登録者募集	年1回献血協力者(約4,500人)対象	
3	新規登録会キャンペーン月間を設けて新規登録者を募集する(キャンペーン月間は移動先が大学などへ集中する10月)	大学など比較的若年層が集まる移動採血現場および各ルームに來所する一般献血者	
4	健康相談事業(健康教室)の実施 各教室定員20名×8回(重複参加可)	複数回献血クラブ全会員対象	健康相談事業(健康教室)の実施。 各教室定員20名×8回(重複参加可)以上
5	講演会の実施(健康に関する演題で)	複数回献血クラブ全会員対象	年間最低1回以上実施する。
6	情報提供メールの送付	複数回献血クラブ全会員対象	定期情報メール:原則毎月1回以上
7	献血依頼メールの送付	複数回献血クラブ全会員対象	前回採血から一定期間未献血者
8	ワンモア献血キャンペーン	ルーム及び街頭献血での400mL献血者(献血ルーム)	応諾者数(実献血者数)2,500人

④400mL献血率増加対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	400mL献血限定取組の実施(福知山C)	了解を得られた献血団体	400mL献血限定取組160稼働以上(全稼働の70%以上)
2	200mL献血者数の上限を設ける(説明資料を献血者に配布)(福知山C)	400mL献血限定にできない献血団体	1稼働あたり200mL献血5人以下
3	はがきによる献血依頼(ルーム)	前回献血から6か月間未献血の400mL献血者	応諾者数(実献血者数)1,300人
4	新規献血協力団体の開拓	新規の団体については、当初から400mL献血限定受付にて依頼する。	3から5団体
5	高校献血における400mL献血限定実施	400mL献血可能者	2校
6	街頭献血等における400mL献血限定取組の実施	400mL献血可能者	土、日曜日、祝日の街頭献血等すべての配車を400mL献血限定にて実施
7	市町村、役所、役場における400mL献血実施	市町職員には400mL献血限定を依頼。ただし、一般市民、町民には400mL献血を推進するが400mL献血限定受付とはしない。	すべての市町村に400mL献血限定受付の理解を求め。
8	400mL献血実施推進用資材の作成	400mL献血可能者	2,000枚作成、配布

⑤その他の具体的対策(①～④以外の独自の対策を記入。以下必要に応じ様式を追加)

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	献血リターンズキャンペーン	過去1年間未献血者	例年献血者の減少する3月に献血ルームへの協力者約250人
2	月、火、水曜日 血小板献血キャンペーン	血小板成分献血者	血小板成分献血者全体に占める月、火、水曜日の血小板成分献血者の割合43%を45%にする。
3	献血会場および団体の見直し	町村合併後の新規開拓と従来の会場および団体の見直し	1台あたり400mL献血51人以上
4	京都市内地域献血の見直し	少子高齢化の進む京都市内地域献血において、より効率的な採血ができるよう見直す。	採血見込み人数によっては1日稼働を半日稼働とする。

平成19年度献血により受入れる血液の目標量を確保するために必要と思われる具体的措置

大阪府赤十字血液センター

①若年献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	はがきによる献血依頼	18～29歳の400mL献血可能者	協力者数34,000人以上
2	献血おもしろゼミナール開催	小学生	8回開催 参加2,000人
3	セミナー開催	高校生	2回開催 参加60人
4	献血イベント(学園祭を含む)	18～22歳の献血可能者	来場者80,000人以上

②献血協賛企業推進対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	新規献血協力企業・団体の確保	献血未実施および献血会場周辺企業・団体	260社新規登録
2	緊急要請可能な待機型団体の確保	企業・団体	動員協力団体10社

③複数回献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	メールによる献血要請	複数回献血クラブ会員	応諾者数(実協力者数)200人以上
2	はがきによる献血依頼	前回採血から一定期間未献血者	応諾者数(実協力者数)3,000人以上
3	実施場所(企業・団体)の年間回数の増加	年1回実施場所(企業・団体)	30カ所

④400mL献血率増加対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	受付時推進用資材の製作	全血献血希望者	全献血会場に設置
2	はがきによる依頼	400mL献血可能者	上記③に含まれる
3	キャンペーンの実施	400mL献血可能者	応諾者数10,000人以上

⑤その他の具体的対策(①～④以外の独自の対策を記入。以下必要に応じ様式を追加)

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	はがき、封書及びEメールで依頼	血小板献血経験者	発送数:10,000枚 応諾者数:10,000人以上
2	受付、採血、休憩中に血小板可能者に推進する。	血小板献血経験者	応諾者数:200人以上

平成19年度献血により受入れる血液の目標量を確保するために必要と思われる具体的措置

兵庫県赤十字血液センター

①若年献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	18歳の献血キャンペーン	県下の県立高等学校3年生	高校生の18歳、400mL献血者数800人(平成18年暦年625人)
2	友だち紹介(カード)キャンペーン	県下の大学・短大・専門学生を主とする	応諾者600人(平成18年度予定約400名)

②献血協賛企業推進対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	新規献血協力企業・団体の確保	ミント神戸献血ルーム付近の周辺企業・団体	30団体

③複数回献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	『プラス1献血クラブ-HYOGO-』(メールによる献血依頼等)の推進	若年層中心	会員5,000名
2	栄養相談事業の実施	複数回献血者を中心として	
3	友だち紹介(カード)キャンペーン	県下の大学・短大・専門学生を主とする	応諾者600人(平成18年度予定約400名)

④400mL献血率増加対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	はがき、電話による献血要請	前回400mL献血者	応諾者数10,000人
2	受付時推進用資材の作成	全血献血希望者	全献血会場に設置
3	18歳の献血キャンペーン	県下の県立高等学校3年生	高校生の18歳、400mL献血者数800人(平成18年暦年625人)

⑤その他の具体的対策(①～④以外の独自の対策を記入。以下必要に応じ様式を追加)

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	献血ルームにおけるサービスの充実	献血ルーム来所者	各種サービスの検討、実施

平成19年度献血により受入れる血液の目標量を確保するために必要と思われる具体的措置

奈良県赤十字赤十字血液センター

①若年献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	セミナー開催	高等学校・専門学校・短大・大学	5回開催 参加5,000人
2	施設見学、体験学習	小・中学生	10回開催 参加400人
3	はがきによる献血依頼	18～29歳の前回400mL献血者及び可能者	協力者 15,000人以上
4	学生献血推進協議会による若年者献血キャンペーン	18～22歳の若者	協力者 1,000人以上、10・20代献血者構成比37%以上

②献血協賛企業推進対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	新規献血協力企業・団体の確保	献血未実施および献血会場周辺企業	24社新規登録
2	緊急要請可能な待機方団体の確保	規模縮小等により献血実施できなくなった企業・団体	動員協力団体6社
3	成分協力団体の拡大	既献血団体及び少人数の企業・団体	12社増加

③複数回献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	メールによる献血要請	複数回献血クラブ会員	応諾者数(実協力者数)500人以上
2	はがきによる献血依頼	前回採血から1年以上未献血者	応諾者数(実協力者数)3,500人以上
3	実施場所(企業・団体)の年間回数の増加	年1回実施場所(企業・団体)	12ヶ所

④400mL献血率増加対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	受付時推進用資材の作成	全献血希望者	全献血会場に設置
2	はがきによる依頼	400mL献血可能者	(上記③複数回献血者確保対策に含まれる)
3	実施場所(企業・団体)の年間回数、実施時期等の精査	年3回以上実施場所(企業・団体)	400mL献血の採血間隔、年間採血量を考慮した献血日程の策定
4	高校献血における400mL献血受入	400mL献血可能者	21校

⑤その他の具体的対策(①～④以外の独自の対策を記入。以下必要に応じ様式を追加)

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	予約制の推進	血小板成分献血者	1日10人を目標に年間3,600人以上
2	電話、はがきによる献血依頼	前回血小板成分献血者	上記に含まれる
3	メール会員による献血依頼	前回血小板成分献血者	上記に含まれる

平成19年度献血により受入れる血液の目標量を確保するために必要と思われる具体的措置

和歌山県赤十字血液センター

①若年献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	学生実行委員会主催キャンペーン	大学生・専門学校生と一般献血者	協力者数300人以上
2	セミナー開催	大学生・専門学校生	5回開催・参加500人
3	はがきによる献血依頼	18～29歳の400mL献血可能者	協力者数4,800人以上

②献血協賛企業推進対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	新規献血協力企業の確保	献血未実施企業	10社新規登録
2	緊急要請可能な団体の確保	既献血団体で追加の協力	動員協力団体10社
3	成分献血協力団体の拡大	既献血団体で追加の協力	10社増加

③複数回献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	メールによる献血要請の推進	複数回献血クラブ会員(メール会員)	月一回以上実施(メール配信多くする)
2	はがきによる献血依頼	前回献血より一定期間未献血者	県内全域・全献血者を対象に依頼

④400mL献血率増加対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	受付時推進用資材の製作	献血車で全血献血希望者	全献血会場に設置
2	推進用パンフレットの作成	企業・団体・献血会場	事前広報・推進による増加対策
3	はがきによる依頼	400mL献血可能者(休眠者含む)	県内全域・全献血者を対象に依頼

⑤その他の具体的対策(①～④以外の独自の対策を記入。以下必要に応じ様式を追加)

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	成分献血協力団体拡大	官公庁及び既献血団体(近隣事業所)	10社増加
2	電話による献血依頼	前回血小板成分献血者	週2人を目標に年間100人
3	再来献血推進	次回血小板成分献血可能者	週2人を目標に年間100人

平成19年度献血により受入れる血液の目標量を確保するために必要と思われる具体的措置

鳥取県赤十字血液センター

①若年献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	研修、セミナーの開催	高校生、大学生	5回開催。参加300人
2	若年層献血キャンペーン	18～26歳の若者	10回以上。参加1,000人以上
3	はがきによる献血依頼	18～29歳の成分献血、400mL献血可能者	協力者数10,000人

②献血協賛企業推進対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	緊急要請可能な企業の確保	血液センター近隣の企業、団体	動員協力企業30社
2	緊急時の献血協力団体の確保	規模縮小等により献血実施できなくなった企業	協力企業30社

③複数回献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	メール、はがきによる献血要請・イベント案内	複数回献血クラブ会員	協力者1,500人以上
2	街頭献血におけるはがきによる依頼	前回献血から一定期間未献血者	協力者3,000人以上
3	企業への年間回数の増加	年1回及び2回実施企業	10ヶ所

④400mL献血率増加対策

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	はがきによる依頼	400mL献血可能者	③複数回献血者確保対策に含まれる。
2	不足型別推進用資材の作成	全血献血希望者	全血献血会場に設置
3	55歳以上の成分献血希望者の全血献血への移行	55歳以上の成分献血希望者	300人

⑤その他の具体的対策(①～④以外の独自の対策を記入。以下必要に応じ様式を追加)

No.	具体的対策(項目名)	対象	平成19年度目標(数値)
1	電話による献血依頼	既血小板成分献血者	3人/日を目標に800人を確保する。
2	午前中の献血者確保(献血者へのサービスの拡大)	全献血者	午前中の採血人数8人を15人に増加する。

平成19年度献血により受入れる血液の目標量を確保するために必要と思われる具体的措置

島根県赤十字血液センター

①若年献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	はがきによる献血依頼	18～29歳の400mL献血可能者	協力者数5,000人
2	専門学校・短大・大学へ学内献血の実施	専門学校・短大・大学生	学内献血を2回以上実施する。

②献血協賛企業推進対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	新規献血協力企業の確保	献血会場周辺企業	37社新規登録

③複数回献血者確保対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	メールによる献血依頼	複数献血クラブ会員	献血者数200人以上
2	はがきによる献血依頼	400mL献血可能者	献血者数500人以上

④400mL献血率増加対策

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	400mL献血のみの献血会場	全血献血希望者	街頭・学内献血で実施する。25回以上
2	はがきによる献血依頼	400mL献血可能者	上記③複数回献血者確保対策に含まれる。
3	400mL比率の高い事業所の献血実施	年2～3回実施事業所	採血間隔・採血量を考慮した献血日程の策定

⑤その他の具体的対策(①～④以外の独自の対策を記入。以下必要に応じ様式を追加)

No.	具体的対策(項目名)	対 象	平成19年度目標(数値)
1	血小板成分献血者確保	血小板成分献血者	登録者200人募集をする。
2	電話 はがきによる献血依頼	既血小板成分成分者	献血者3,500人を確保する。